

▼オラセフ錠 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】セフロキシムアキシセチル (U) Cefuroxime Axetil 【分類】経ロセフェム系抗生物質 [第2世代]

【単位】▼250mg/錠

【常用量】750mg/日 [最大1500mg/日]

【用法】1日3回

【透析患者への投与方法】250~500mgを48hr毎(1)

【その他の報告】750mgをHD後(U) 0.25~0.5gを24hr毎[HD日はHD後](17)

【PD】0.25~0.5gを48hr毎(17)

【CRRT】静注セファロスポリンを選択(17) 500~750mgを12hr毎(Davies SP, et al: Nephrol Dial Transplant 6: 971-6, 1991 PMID: 1798597)

【保存期CKD患者への投与方法】Ccr 30~49mL/min : 250~500mgを1日2回, Ccr 10~29mL/min : 250~500mgを1日1回, Ccr 10mL/min未満 : 250~500mgを2日に1回(1)

【その他の報告】投与間隔を3倍に延長(12)

Ccr 20mL/min以上 : 0.75g~1.5gを8hr毎, Ccr 10~20mL/min : 750mgを12hr毎, Ccr 10mL/min未満 : 750mgを24hr毎(U)

Ccr 50~90mL/min : 0.75~1.5を8hr毎, Ccr 10~50mL/min : 0.75~1.5gを8~12hr毎, Ccr 10mL/min未満 : 0.75~1.5gを24hr毎(サンフォード感染症治療ガイド)

Ccr >30mL/min : 0.25~0.5gを1日2回, Ccr 10~29mL/min : 0.25~0.5gを24hr毎, Ccr 10mL/min未満 : 0.25~0.5gを48hr毎(17)

Ccr 50mL/min/1.73m²以上 : 減量の必要なし, Ccr 30~49mL/min/1.73m² : 常用量を12hr毎, Ccr 10~29mL/min/1.73m² : 常用量を24hr毎, Ccr 10mL/min/1.73m²未満 : 常用量を48hr毎(Konishi K, et al: J Antimicrob Chemother 31: 413-20, 1993 PMID: 8486575)

【特徴】第2世代経ロセファロスポリンのプロドラッグ。

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー, SJS, TEN, 偽膜性大腸炎, 消化器症状, 血球減少, 肝障害, ビタミン欠乏症など

【吸収】食後投与の方が吸収率が高い(1)

【F】空腹時37%, 食後52~68%(U)

【tmax】約2hr(1)

【代謝】腸管壁のエステラーゼにより脱エステル化されセフロキシムに変換される(1) ほとんど代謝を受けない(1) 一部が腸管壁のエステラーゼによりアセトアルデヒド及び酢酸を産生するがその量は微量であり肝で速やかに分解される(1)

【排泄】尿中未変化体排泄率90%(12) 89%(U)

【CL】9L/hrで腎機能低下により線形に低下(Carlier M, et al: J Antimicrob Chemother 69: 2797-803, 2014 PMID: 24917580) GFRに正相関(Bertholee D, et al: Int J Clin Pharm 35: 798-804, 2013 PMID: 23794078)

【t1/2】0.9~1.1hr(1) 1.2hr(12) 80min [im](U) 【腎不全患者のt1/2】17hr(12) 3~17hr(U) PD患者で15hr(Dahl K, et al: Nephrol Dial Transplant 5: 275-81, 1990 PMID: 2113224)

【蛋白結合率】35%(1) 35~50%(12) 50%(U)

【Vd】0.13~0.18L/kg(12) 0.82L/kg(U) 22.5L/man [iv](Carlier M, et al: J Antimicrob Chemother 69: 2797-803, 2014 PMID: 24917580)

【MW】510.47 [446.4]

【透析性】透析される(1) 除去される(U)

【相互作用】リン吸着薬による吸収低下を認めない(Brink HS, et al: Adv Perit Dial 10: 179-82, 1994 PMID: 7999822)

【更新日】20221114

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。